



- 新日軽の製品をお買い上げいただきありがとうございます。
- 正しい施工をしていただくため当説明書をお読みください。
- 施工完了後は本説明書をお施主様へお渡しください。

注意事項 施工にあたっては次のような点に注意してください。

- ①モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますのでその使用を避けていただくか、十分に水洗いしたものを使用してください。
- ②モルタルやコンクリートの抽出液が工事中に製品の表面を流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
- ③モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- ④施工時に製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。
- ⑤（建仁寺垣）はパネルタイプの竹垣のため、竹垣全体を風で受けますので竹垣全体の強度保持に十分注意してください。
- ⑥施工現場に依り、フーチングを設けてください。また、控え柱部分にも基礎を設けてください。
- ⑦パネル本体が、柱に完全にフックされているかを確認してください。
- ⑧特に下記のような施工現場では当社担当者にご相談ください。
 - ①台風が頻繁に飛来する地区や海岸沿いの崖付近など特に風の強い場所。
 - ②特に地盤が軟弱な場所。

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

お願いしたいこと…この取扱い説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
	この表示を無視して、取付・取扱いを誤ると使用者が損害を負う危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。

△ 注意事項

- 建仁寺垣本体に乗ったり、寄りかかったり、揺すったりしないでください。
- 雨具・洗濯物・布団等を載せないでください。
- 本製品は樹脂製品です。近くで焚火などをしないでください。又、火気には十分ご注意ください。

お手入れの仕方について

- ①製品に泥等が付着（特に道路側）することがありますが、水で洗い落としてください。
- ②製品に付着したよごれは、中性洗剤をうすめて洗い落としてください。
 - ・やわらかい布やスポンジを使用し、水洗いの上、空ぶきが必要です。
 - ・天候の良い、湿度の低い日が最適です。
- ③特殊な溶剤等は使用しないで下さい。

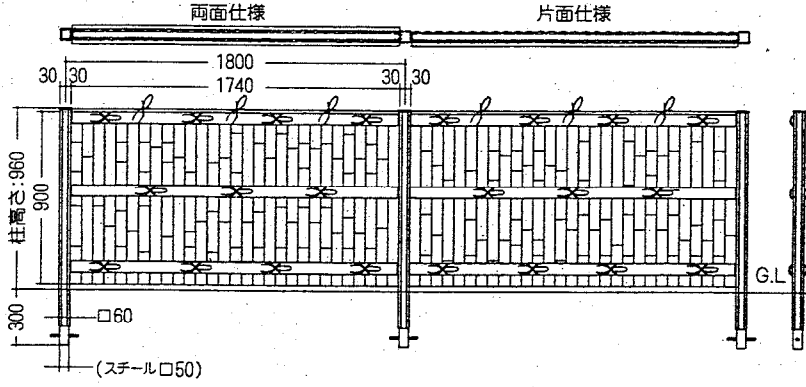
梱包内容明細

品 種	サイズ	梱包内容	備 考
パネル本体 (片面タイプ)	1809 標準	1 枚 入り	笠竹及び取扱い説明書、スリーブタイプ取付ビス同梱
	1809 上部		
パネル本体 (両面タイプ)	1809 標準	1 枚 入り	笠竹及び取扱い説明書、スリーブタイプ取付ビス同梱
	1809 上部		
間 柱	H: 900 用	1 本 入り	取り付け金具及びビス同梱(小袋入り) アンカー棒同梱
	H:1800 用 (控柱無)		
	H:1800 用 (控柱有)		

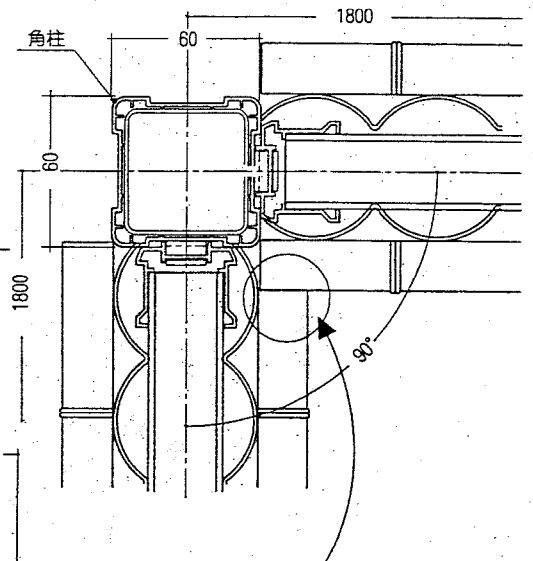
品 種	サイズ	梱包内容	備 考
端 柱	H: 900 用	1 枚 入り	取り付け金具及びビス同梱(小袋入り) アンカー棒同梱
	H:1800 用 (控柱無)		
	H:1800 用 (控柱有)		
角 柱	H: 900 用	1 枚 入り	取り付け金具及びビス同梱(小袋入り) アンカー棒同梱
	H:1800 用		

基本納まり図

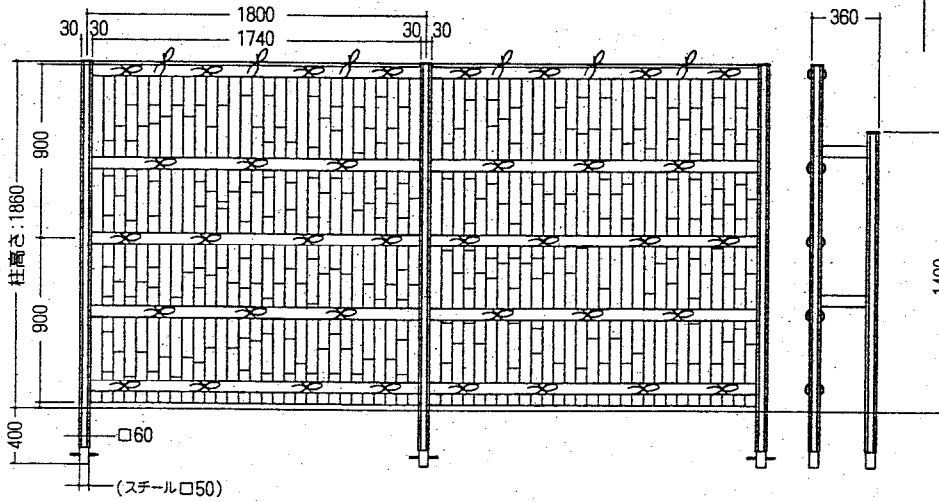
H: 900用



コーナー納まり断面図



H: 1800用 (控柱付)

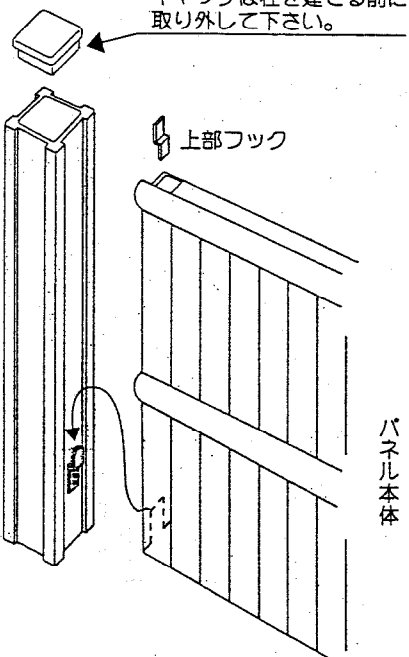


*コーナー部では、左図のように押え竹の先端を20mm以上切り落として下さい

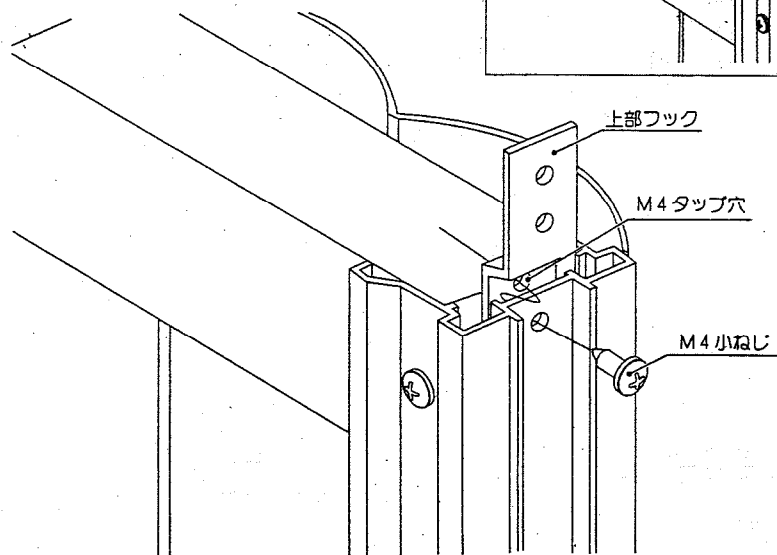
施工手順 (以下の手順に従い組み立てて下さい)

- 1 柱にアンカー棒を挿入し、柱を仮止めし建て込んで下さい。標準パネル本体に上部フックを取り付けて下さい。(両端共)

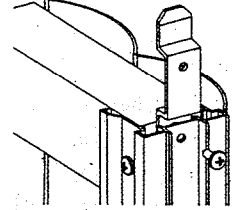
キャップは柱を建てる前に取り外して下さい。



上部フック取付け方法

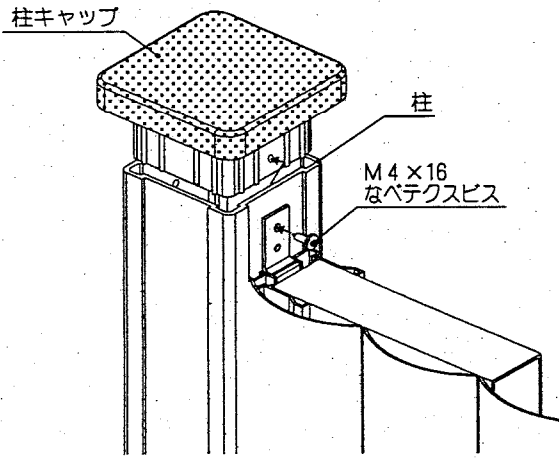


二段施工時の中間フック取付方法

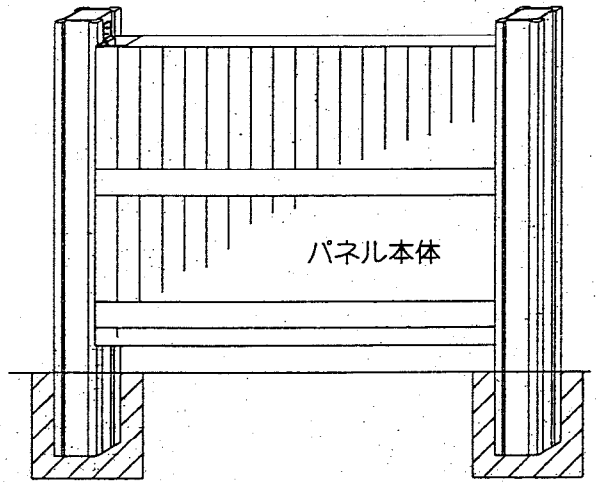


施工手順 (以下の手順に従い組み立ててください)

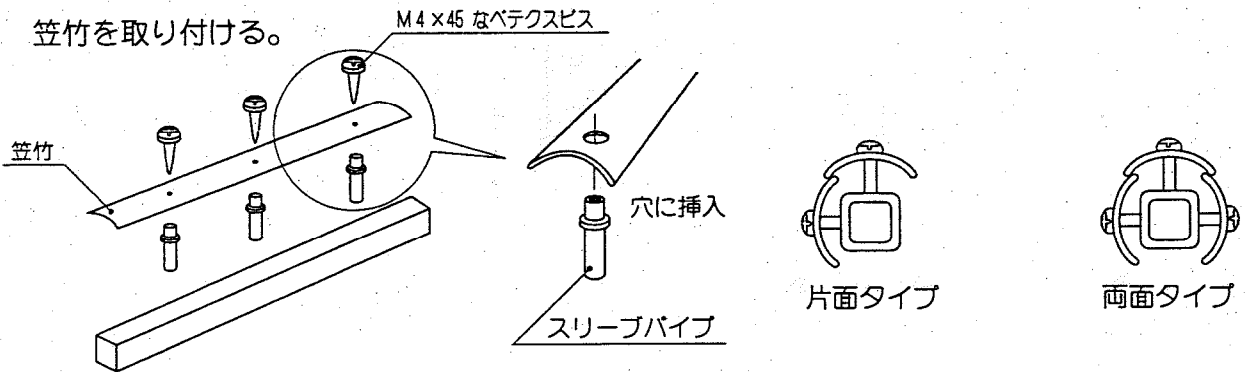
- 2** 柱キャップを再度挿入し、M4×16なベテクスビスにて上部フックと共締めして下さい (注:ビス1本)。
その後、柱の水平垂直を確認の上柱を規定の深さにて埋没して下さい。



- 3** 次の柱を建て込み、パネル本体を1と同様に柱に下部フックに引っ掛けてください。



- 4** 笠竹を取り付ける。



- 5** パネル本体二段施行 (H 1800用)

(1)下段を取付ける

(1 参照)

中間フックの取付は、1の上
部フック取付参照

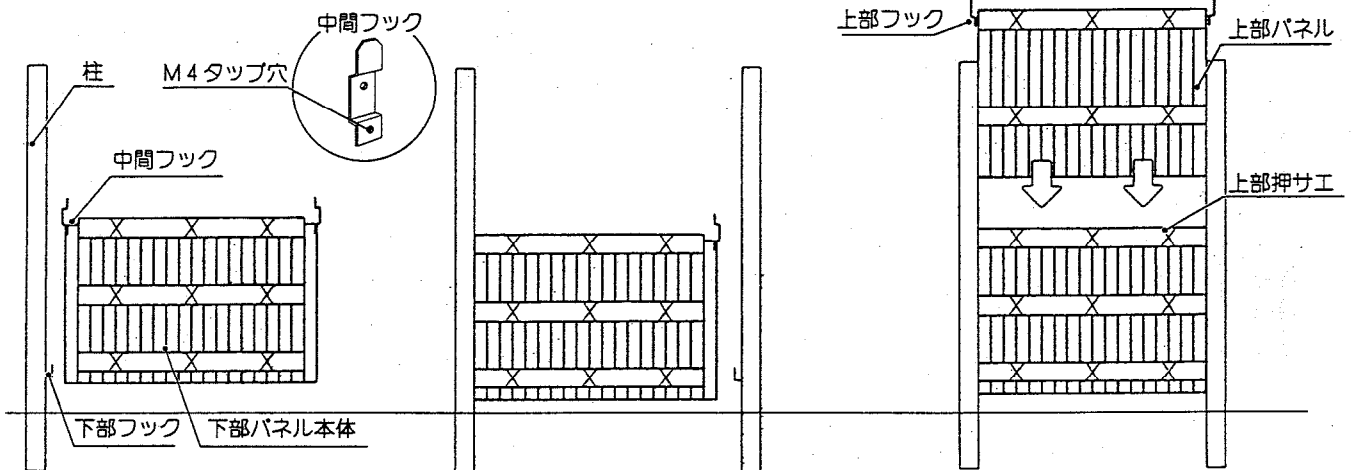
(2)次の柱も同様に引っ掛け

中間フックと柱をビス止め
(2 参照)して下さい。

(3)上部パネルを上から挿入

標準パネル上部押さえ竹のビスをゆる
めて上部パネルが入りやすくする。

(4) 4 を参照し笠竹を取り付けて下さい。

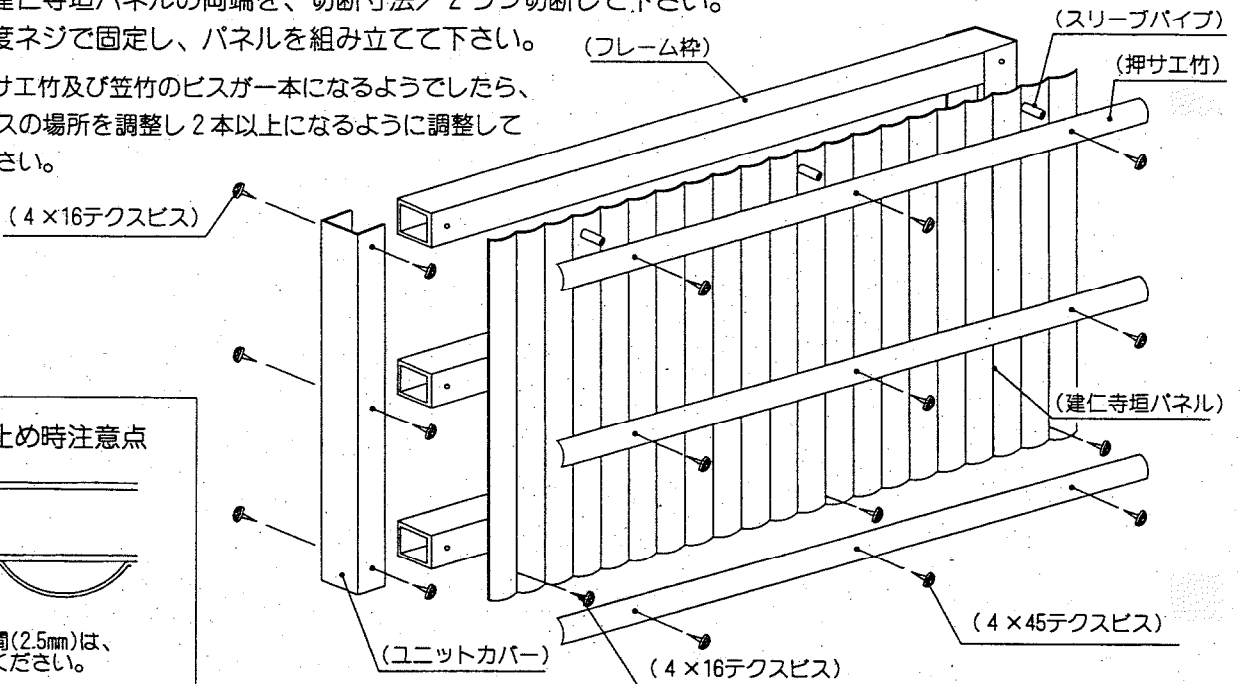


パネル切詰め方法

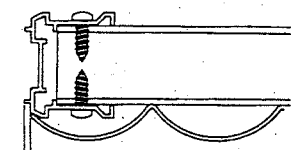
現場にてパネルを切断する場合は、左図のように全てのビスを取りはずし、パネルを分解してフレーム枠、押サエ竹、笠竹、建仁寺垣パネルの両端を、切断寸法/2づつ切断して下さい。

切断後、再度ネジで固定し、パネルを組み立てて下さい。

(注意) 押サエ竹及び笠竹のビスが一本になるようでしたら、ビスの場所を調整し2本以上になるように調整して下さい。

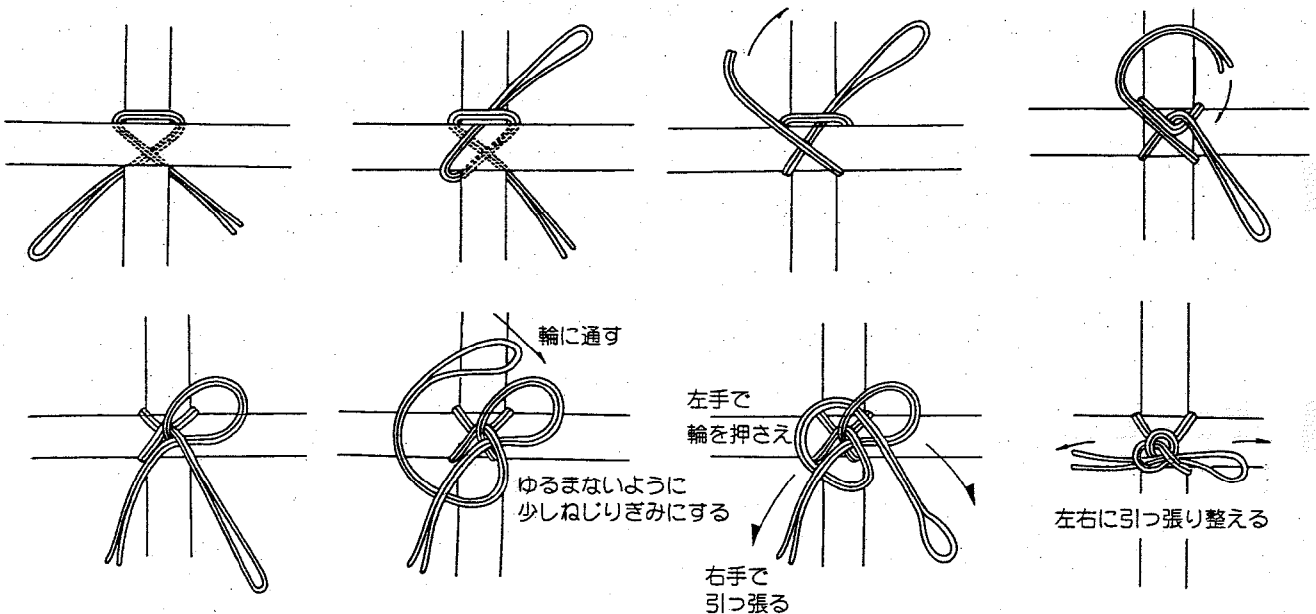


パネルビス止め時注意点



この隙間(2.5mm)は、あけてください。

■ シュロ縄の縛り方 — シュロ縄は工場出荷時に既に取り付けられていますが、もしほどけた場合は下図を参考の上縛りなおして下さい。



施工後パネルを取り外す方法

パネルの破損等で、パネルを取り外したい時は、下記の手順で行って下さい。

(1) 笠竹を取り外して下さい。(2) 両側の柱キャップを取り外して下さい。(3) パネルの取付金具のビスを取り外して下さい。(4) パネルを柱にスライドさせながら上に引き上げて下さい。

再度パネルを取り付ける場合は、上記の逆(4)→(1)の手順で取付けてください。